



山岡奈ちゃん

主題名 生命の大切さ・かけがえのない命

教材名 命 ～せいいっぱい生きる～

(出典：「電池が切れるまで 子ども病院からのメッセージ」すずらの会編 角川文庫より)

人権学習の視点 普遍的な視点「生命や人間の尊厳」

主題・教材について

宮越由貴奈さんは、小児ガンと闘いながら常に前向きに明るく生きた少女である。その生き方から、命の尊さと人間の尊厳について深く感じ、自分の命も他の人の命も大切にしたいと思う心情を養いたい。

ねらい

命は限りあるものであることを知り、自分にとっても家族にとってもかけがえのない命を大切に生きていこうとする心情を養う。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○本時の学習課題を知らせる。	一斉	○本時の学習課題を知る。		
	「命」について考えよう				
展開	○命が大切にされていないと思うことを想起させる。	一斉	○命が大切にされていないと思うことをカードに書いて発表する。	○思いつくことをできるだけたくさん書かせ、発表したことを板書する。	カード(付箋やメモ用紙)
	DVDや由貴奈さんの詩から、どんなことを思うだろう				
	○DVDを見せて、命について感じたこと・考えたことを発表させる。	一斉	○「命」～せいいっぱい生きる～のDVDを見る。 ○DVDを見て心に残ったことを発表する。	○静かな気持ちで、DVDを見せる。	DVD 「命 ～せいいっぱい生きる～」 由貴奈さんの写真の拡大コピー
開	○「命」の詩や、P.6～7の資料から、由貴奈さんの人柄や生き方について考えさせる。	個別	○本文やDVDから病気と闘う由貴奈さんや家族の気持ちについて考え、ワークシートに書き、発表する。	○頭にスカーフを巻いていること、双子の妹の面倒を看ていること、明るい笑顔などに気付かせる。	資料 「命 ～せいいっぱい生きる～」
	○病気と闘った由貴奈さんと、それを励まし続けた家族の心情を感じ取らせる。	一斉		○「命」の詩を書く前に、自殺やいじめのニュースが毎日のように続いていたことを確認する。 ○最後まで精一杯生きようとした由貴奈さんと、励まし続けた家族の思いを感じ取らせる。	ワークシート 問1
まとめ	「命」について、今考えていることは？				
	○「命」について今考えていることを書かせ、発表させる。	個別 一斉	○「命」について今考えていることを書き、発表し合う。	○自分の命だけでなく、他の人の命についても考えられるようにする。	ワークシート 問2

評価

命は限りあるものであることを知り、自分にとっても家族にとってもかけがえのない命を大切に生きていこうとする心情を養うことができたか。

